



日本防災士会広島県支部会報



第1号 平成20年9月27日

日本防災士会広島県支部設立総会 議事録

○日時 平成20年9月27日(土) 10時～10時50分

○場所 広島市東区民文化文化センター 3階 中会議室
〒732-0055 広島市東区東蟹屋町10番31号

○出席者

- ・来賓 広島県危機管理監 抹香尊文氏
広島市消防局長 田村義典氏 所用のため、
代理 広島市消防局 危機管理部長 山村雄一氏
- ・講演 広島市安佐南区沼田町伴地区
自主防災会連合会 連合会長 原田 照美 氏
- ・防災士 20名(敬称略)
箱上恵吾、桑木光信、吉田昇、楠田雅紀、今井達也、宮崎保通、渡邊真悟、横田礼右、中嶋瑞紀、中嶋泰、木本富男、佐々木秀彦、小嶋孝、新本貴子、佐伯達郎、松井邦幸、大河原美樹、熊谷智代、福間玄、栗栖賢二
- ・一般 3名(自治体関係者等)

1. 開会挨拶

日本防災士会広島県支部設立総会準備会代表 箱上恵吾氏

日本防災士機構により防災士という資格ができ、このたび広島県でも多くの賛同を賜り広島県支部設立の運びとなった。度重なる災害に的確に対応するために、公にのみ頼るのではなく、自助・共助という考えのもと防災士が地域のリーダーとなって活動していかなければならないと挨拶した。

2. 来賓挨拶

広島県危機管理監 抹香尊文氏

災害は大規模化、多発化している。公助・自助・共助の3つが働いてこそ災害を最小限に食い止められる。広島県では68%の自主防災組織率であるが、各組織が連携して地域の防災力の向上につとめたい。

広島市消防局長 田村義典氏(代読 危機管理部長山村雄一氏)

近年短時間に降る雨量が多くなっており、市民の被害の増大に直結している。一人一人が災害を自分のものとして捕らえ、積極的に行動することが大切。正しい知識と技術を持った人がリーダーとして活躍して欲しい。

3. 祝電披露

- ・ 日本防災士会 代表幹事 小宮多喜次氏
- ・ 日本防災士会 岡山県支部 支部長 稲谷 皓右氏
- ・ 日本防災士会 鳥取県支部 支部長 黒田 敏博氏
- ・ 日本防災士会 香川県支部 支部長 久保 雅和氏
- ・ 日本防災士会 徳島県支部 支部長 呉羽 敏則氏

4. 議案審議

事務局の推薦により今井達也氏が議長となった。続いて各防災士が自己紹介を行った。事務局により広島県支部設立総会準備会の経過報告を行ったあと、各議案の審議を求めた。

- ・ 支部規約 別紙議案のとおり承認可決
- ・ 支部役員 以下のとおり承認可決

(敬称略)

支部長 箱上恵吾
副支部長 桑木光信、吉田昇
事務局長 楠田雅紀
事務局 今井達也、宮崎保通、渡邊真悟
会計 横田礼右、中嶋瑞紀
会計監査 脇坂伯史、中嶋泰
幹事(県南西部) 木本富男、若林孝道、佐々木秀彦、小嶋孝、新本貴子、
佐伯達郎、松井邦幸、大河原美樹
(県南東部) 熊谷智代

- ・ 平成20年度の事業計画案(専門家による講演)提案のとおり承認可決
- ・ 予算案 別紙配布資料の予算案どおり承認可決

以上をもって本日の審議がすべて終わり、議長は10時50分閉会を宣言した。総会后、

- ・ 記念講演「地域防災力(自主防災組織)の向上について」
広島市安佐南区沼田町伴地区自主防災会連合会 連合会長 原田 照美 氏
- ・ 意見交換(2~3ヶ月に1度位のペースで支部会を開催、講演の他に消防、自衛隊等での実習を加えたいなど)
- ・ 記念撮影 12時45分、散会した。



記念講演



記念写真